

2026年度

第4回

# 実装科学セミナー

演者/座長：村井 真介 先生・大川 純代 先生  
(国立健康危機管理研究機構)

演題：国際保健医療協力で実装科学研究を行う際の  
教訓と課題：ザンビアでの経験から

参加費  
無料

2026年9月17日(木)

16:00 ▶ 17:00

Web会議システム (Zoom ミーティング)

申込締切 2026年9月17日(木) 17:00  
(セミナー終了まで)

✓ [講師プロフィール]

村井真介：2008年医学博士、2013年より現職。国際協力と医療の質・安全を専門とし、5月までザンビアで国際協力プロジェクトのチーフアドバイザーを務める。ガバナンス、質改善、集団学習、現場実践と実装科学の橋渡しに取り組む。

大川純代：2013年保健学博士、2021年より現職。国際協力の実践と研究をつなぐための手段として実装科学に注目し、取り組んでいる。専門は母子保健、思春期の健康、がん対策

✓ [セミナー要旨]

2021年に開始したJICA「ルサカ州総合病院経営能力強化プロジェクト」のもと、2023年より感染予防管理プログラムの実装研究に取り組んだ。実装と研究を同時に進める上で直面した困難を振り返り、国際協力において実装科学を推進するための教訓と課題を考察する。

お申込みはこちら

<https://forms.cloud.microsoft/r/9wAgwWZbmp>

主催：国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部  
N-EQUITY (健康格差是正のための実装科学ナショナルセンターコンソーシアム)  
共催：保健医療福祉における普及と実装科学研究会 (RADISH)  
国立がん研究センター がん対策研究所 サバイバーシップ研究部  
SaQRA (日本がんサバイバーシップ研究グループ)  
東京慈恵会医科大学 がんサバイバーシップ・デジタル医療学講座  
問合せ先：国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部 長尾・山口 [impsci-sem@ml.res.ncc.go.jp](mailto:impsci-sem@ml.res.ncc.go.jp)

